

編集・発行 Japan Business Association of Southern California
1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone: 310-515-9522
制作協力 Lighthouse

©JBA 2023 本誌掲載の記事・写真の無断複写、複製、転載を禁じます。



JBA 会長

こばやしひろのり
小林弘典



新年、明けましておめでとうございます。2023年が皆さまにとりましてより良い一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

長きにわたるコロナ禍の厄災を乗り越え、往来が緩和された日本に昨秋一時帰国する機会がありました。偶然にも赤坂とらやを訪ね、羊羹の断

新年、明けましておめでとうございます。

面の小豆を間に白く浮かぶ梅の花に見立てたと言われる“夜の梅”を頂戴しました。時代が変わっても守ってこられたコアがある中で、時代に合わせて求められるものを提案されてこられたことが、18代500年栄え愛される老舗の伝統であると深く感じることができます。赤坂本店ギャラリーで羊羹・和菓子の由来や歴史を振り返るとともに、小豆と寒天にまごころを加えてお客様の世代・用途・地域に合わせて柔らかさや形状、パッケージをお口に合わせていく様子を拝見致しました。最近はお餅をペーストにして生クリームとともに食パンのお供にまで！ 秘伝のレシピや形状を変えないことが伝統を守ることではなくて、時代を越えて新しく愛され続けることが伝統だと感じます。

コロナ禍の前後でワークスタイルや生活スタイルが変化する中、ハリウッドボウルでクラシックを聴く機会にも同様なことを感じます。クラシック音楽はバッハ、ベートーベン、ブラームスの時代から偉大な作曲家が多くの作品を残し、偉大な演奏家や指揮者が多くの名演を残してきました。演奏家や指揮者は楽譜に表現された作曲家の意図を汲み取り、突き詰め、正しく再現することを目指します。このことは伝統芸術や技能を伝承し守ることから

も重要なことです。ただ一方で、作曲家の意図の再現だけをを目指すことは後ろ向きで、巨匠の名演の録音があればそれを超える芸術は生まれないことになってしまいますし、今を生きる聴衆に提供する価値が薄れます。音楽は演奏家と聴衆が気持ちや感情を伝え合い、ライブで感情や感動を分かち合える空間だと思えます。クラシック音楽は、作曲家の意図をコアとして、演奏家や指揮者は演奏を通じて伝えたいものを持ち、聴衆は各々の心情を重ね合わせて、その場その場で新たに生まれている芸術なのでしょう。だからこそ、新たな演奏家が生まれ、新たなファンを生み、次代に望みを託すことができる伝統芸術としてつながっていけると思えます。

時代やワークスタイル・生活スタイルが変わりましても、JBA(南カリフォルニア日系企業協会)の変わらぬコアは、人の集まる場所であることだと存じます。人の集まる場所に新しい出会いや新しい学び、新しい刺激、夢や意欲が生まれます。JBAは本年も人と会い、人とつながり高め合う機会のお役に立ちたいと願っております。

本年が皆さまにとって歓びに満ちた年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



在ロサンゼルス日本国総領事

そね けんこう
曾根 健孝



令和5年の年頭に当たり、新年の御挨拶を申し上げます。

昨年9月の着任以来、在留邦人、日系企業、日系人団体をはじめ、わが国と米国の関係強化に様々な形で貢献していただいている多くの皆様に温かく接していただき、改めて御礼を申し上げます。今年も皆様とともに日米関係を一層発展させるべく努力したいと思っておりますので、引き続きの御協力と御支援を賜りますようお願いいたします。

明けましておめでとうございます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻により、ヨーロッパのみならずインド太平洋地域を含む世界全体が大きな影響を受けました。武力による一方的な現状変更の試みは国際秩序の根幹への挑戦であり、決して許されるものではありません。このような安全保障面に加え、エネルギーや食糧をはじめとする経済的な側面においても国際社会が数々の課題に直面する中、強固な日米同盟が地域及び国際社会の平和と安定にとってこれまで以上に重要であることが確認され、その一層の強化に向け日米両国で取り組んでいます。太平洋に面するロサンゼルスから「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた日米両国の取組をしっかりと支えていくことが当館に課せられた重要な役割であると考えています。

医療関係者をはじめ、引き続き多くの方がコロナとの闘いを続けていることに敬意を表したいと思います。同時に、当地においてウィズ・コロナの新たな生活を作り上げる試みが続けられていることに勇気づけられています。日本も昨年10月から渡航制限を大きく緩和し、3年にわたり滞っていた人的交流の再活性化に向けて動き始めました。久しぶりに日本を、米国を訪問した人々から喜びの声が届いています。これを機に、当館としても、様々な分野とレベルでの交流をコロナ禍以前よりもさらに拡大するために一層精力的に取り組んでいきたいと考えています。在留邦人及び日系人の皆様との強固な関係を軸とし、当地の様々なコミュニティとの交流、将来の日米関係の発展を担う若い世代がイニシアティブを発揮できるよう交流、姉妹都市交流、スポーツ・武道や日本食を通じた交流などを積極的に推進していきたいと思っております。当地にはジャパン・ハウスをはじめ日本の文化を発信

する基盤とそれを受け入れる環境が十分に整っています。この環境を最大限に活かし、日本の最先端の文化や情報をいち早く当地の人々に向けて発信し、従来の枠を越えて新たな相互理解と協力を生み出すための取組を続けていきたいと考えています。

カリフォルニア州は全米でも最先端の環境・気候変動対策を進めている州のひとつです。当館としては、日本が優位性を持つ水素技術等を通じて、日本企業と当地関係者との協力を力強く支援していきます。カリフォルニア州は2035年までに乗用車の新車販売をゼロ・エミッションとするとの目標を掲げていますが、わが国としてこの意欲的な環境目標へのソリューションに貢献する可能性を追求し、日米経済関係の一層の強化、さらには日米が世界をリードしていく途につなげたいと考えています。

また、当館のもうひとつの管轄州であるアリゾナ州にも着任以来既に複数回訪れる機会に恵まれました。フェニックス市の日系コミュニティを中心として、伝統的に我が国との良好な関係が維持されていることを心強く思います。毎年2月に行われるアリゾナ祭り、昨年開園20周年を迎えた日本庭園の鷺鳳園は日・アリゾナ関係の象徴とも言えるでしょう。アリゾナのある大学では日本語が最も人気がある語学であると伺い勇気づけられています。加えて、昨今目覚ましく伸長している半導体等のハイテク産業分野への日本企業の参画も後押ししていきたいと考えています。

今年は「飛躍の年」卯(うさぎ)年です。日米関係のさらなる「飛躍」に向かって、皆様とともに力強く跳躍する年としたいと思います。最後に、新しい年における皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

教育文化部会
教育セミナー報告

「親子で実践する、ヘルシーな食品の選び方 in 南カリフォルニア」

去る12月11日(日)、栄養コンサルタントのジュグナ美和さんを講師に迎えた、健康的な食品選びについて解説するウェビナーを開催した。

【講師】ジュグナ美和さん

Wellness Creations代表(ホリスティック栄養学講師・栄養コンサルタント)。実践的な食の講座をプロデュース。ウェルネス関連企業での社員向け講座、フィットネスコーチ向けの「サプリメントの安全で効果的な摂り方」など、幅広いトピックの講座を提供。



「何を食べないか」の方が大切

最初に、林教育文化部会長が「食育は健康な生活を送る上で不可欠です。今日のウェビナーが正確な知識を身に付けるための一助になればうれしいと思います」と冒頭の挨拶で語った。

続いて登場した講師のジュグナさんは「実は、食は何を食べるべきかよりも、何を食べない方がいいか、つまり人間の体によって必要のないものは極力取り入れないということの方が大切です」と話した後で、基本的な食育の考え方としてSOUL FOODSというキーワードを紹介した。「SOUL FOODSのSOULのSは季節のもの(seasonal)、Oは化学農薬を不使用のもの(organic)、Uは加工していないもの(unprocessed)、そしてLは地元のもの(local)です。この条件に当てはまる食

品を選ぶようにしてください」。

次にホールフーズと加工食品の違いを解説した。「加工されていないホールフーズは、カロリーは低いですが、ビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富で栄養密度が高く、一方の加工食品はその反対でカロリーは高く、栄養密度が低くなります。現代病の原因の一つが食物繊維の摂取が減っていることです。加工食品の摂取が多くなると食物繊維が不足だけでなく糖分も過剰になります」。

次に1日に摂取しても良い砂糖の量については、「実は砂糖は塩と違い、絶対に必要な栄養素ではありません。(砂糖の摂取が)ゼロに近ければ近いほど理想的です。WHOが定めた砂糖の1日の摂取量は25グラムほどです」と話し、この25グラムは甘い飲み物1杯を飲めば軽く超える量であり、常に糖質の量を確認することが重要だと強調した。

そして、食品を選ぶ際の目安となる栄養表示の見方について、次のように解説した。「栄養表示のところにサービングサイズごとの栄養素の量が書いてありますが、通常は容器に入っている量とサービングサイズが異なることに注意してください。また、原材料表示は分量が多い順に表示されていますので、たとえば2番目に砂糖と書いてあるということはかなり糖分が含まれているということになります。原材料の数が少ない食品の方がヘルシーですので、その数が少ないものを選ぶようにしましょう」。

さらに砂糖の種類の違いについても次のように解説した。「覚えておきたいこととして、同じ砂糖でもcane sugarとsugarでは違うということが挙げられます。cane sugarはサトウキビですが、sugarはテンサイト由来のことが多いです。そしてテンサイトは遺伝子組み換えが多いので、遺伝子組み換え食品を避けている方は、単に

オレンジジュース (8 oz)	オレンジ (1個)
<ul style="list-style-type: none"> ・ カロリー: 102 kcal ・ 脂質: 0.45 g ・ 炭水化物: 23.59 g ・ 食物繊維: 0.5 g ・ 糖質: 19.05 g ・ ビタミンC: 189% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カロリー: 62 kcal ・ 脂質: 0.16 g ・ 炭水化物: 15.4 g ・ 食物繊維: 3.1 g ・ 糖質: 12.2 g ・ ビタミンC: 110%

ホールフーズであるオレンジとオレンジジュースを比較し、オレンジのものよりもオレンジジュースの方が食物繊維が少なく、糖質が増えたと説明。

sugarと書いてある場合は要注意です」。

添加物入りの加工肉に注意

また、避けたい食品添加物としてハムやソーセージに含まれている亜硝酸ナトリウム、硝酸ナトリウムを挙げた。「これらは色のきれいな加工肉を作るために使われる発色剤です。安い肉の見た目を良くするため、また賞味期限を延ばすために用いられているのです。アメリカではTrader Joe'sなどが比較的危険な添加物を使用していないハムやソーセージを売っています。Whole Foods Marketもあります。原材料が肉と水と塩とスパイス程度のハムやソーセージをお勧めします。ただし、賞味期限は短くなってしまいます」。

加工肉に関連して、安全なパンについても触れた。「スーパーではなく、ベーカリーのパンを買った方がいいです。ブランドによっては原材料のリストがあまりにも多いパンもあります。家庭でパンを焼く場合は小麦粉、塩、砂糖、水、オイルですよね。買う場合も極力それに近いものを選ぶと良いでしょう」。最後に参加者からの質問に答え、1時間半に及んだセミナーを終了した。

AI×プロの翻訳者が実現する一歩先の機械翻訳サービス

「大量の文書を短期間で」「社内用の資料を安く」
年間30万ページ分の対応実績！

翻訳に関するお悩みを、ポストエディットサービスが解決します。

機械翻訳にかけた出力結果を人が確認し、必要に応じて修正を施すことで、お客様の要望に合わせた品質レベルに翻訳を仕上げます。人によるこの修正作業は「ポストエディット」と呼ばれています。E-discovery、デューデリ資料、社内規定など、さまざまな文書に各種言語で対応しています。

お問い合わせはこちら

Webサイトはこちら



川村インターナショナル 担当:二宮まで (310) 343-9948
Kawamura International 4136 Del Rey Ave, Suite 605, Marina del Rey, CA 90292



会場準備、受付、司会を担当した企画マーケティング部会員の面々。千田さん、芳賀さん、稲員さん、藤井さん、渡邊さん、赤穂さん、神谷さん。



「4月に赴任してきましたが、ここは本当に過ごしやすいですね」(Mitsui Sumitomo Marine Management(USA), Inc.の中村さん)。「知り合いを増やせればと思い、参加しました」(KDDI America, Inc.の岡さん)。「今日は幅広い業種の方との交流を楽しんでいます」(J. Morey Co. Incorporatedの馬場さん)。



「弊社は少数で運営している上、私がパンデミック中に着任しましたので、今日はお仲間を作りに来ました」(ShinMaywa(California), Ltd.の西ノ原さん)。「知見を広めるために参加しました」(NMB(USA)Inc.の中村さん)。「ミシガンから来て2カ月です。カリフォルニアは暖かくて便利な場所ですね」(NMB Technologies Corporationの増田さん)。



「コロナ禍の間は積極的に活動できなかったので今日のイベントに参加できてうれしいです。会場もきれいですね」(Insurance110の立石さん)。「インバーソンのイベントを楽しんでいます」(Office Sekkei America, Inc.の日下部さん)。

企画マーケティング部会

トランスで ミキサー(異業種交流会) を開催!

去る11月16日(水)、Torrance Marriott Redondo Beachで、今期2度目となるリアルでのミキサーを開催した。受付開始後すぐに50人分のチケットが完売となり、前回に続き人気のイベントとなった(皆さんのお名前は左から)。



「16年前に留学したのをきっかけにロサンゼルスに住みたくて、昨年1月に会社を起こして渡米しました」(Akira Marketing LLCの戸田さん)。「このイベントで新しい方と知り合ってシナジーを生み出せればいいと思っています」(KDDI America, Inc.のマックさん)。「JBAのネットジェネレーションの活動に参加してくれる人を探しに来ました」(Toll Groupの井形さん)。



前列:「日本からきたばかりでロサンゼルスの日と夜の寒暖差に驚いています。早くこちらでの生活に慣れたいです」(Japan Executive Limousine, inc.の稲員さん)、「ロサンゼルスには20年前からありますが、新たな人的ネットワークを広げるために参加しました」(Hibino USA, Inc.の高谷さん) 後列:「一昨日、ロサンゼルスに正式赴任してまいりました」(Gulliver USA Inc.の久保田さん)、「赴任したばかりで右も左も分かりません。今後ともどうぞよろしく願い致します」(Gulliver USA Inc.の羽鳥さん)。



「パンデミックが終焉しつつあるので、これからはまた積極的に交流していきたいと思っています」(EOS Accountants LLPのドンビルさん)。「メキシコからカリフォルニアに来て半年です。自動車関係の方が多かったメキシコと違って、こちらではいろいろな業種の方がいてチャンスの広がりを感じます」(Fujita America, Inc.の青木さん)。



「弊社は7月にJBAに入会したばかりです。今日は皆さんの情報交換を目的に参加しました」(Redac Advantage Insurance Services LLCの橋本さん)。「コロナ禍以降、久しぶりに皆さんにお目にかかれることを楽しみにしていました」(Starts Pacific, Inc.の津田さん)。「カリフォルニアに4年弱おりますが、JBAのイベント参加は初めてです」(Tokuyama America, Inc.の及川さん)。「コロナで人と人のつながりが絶たれていたのが、今日また新しく関係を築きたいと思っています」(East Japan Railway Companyの水井さん)。



自由に談笑する参加者の皆さん。



閉会間際に集合写真を撮影。

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
#43

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の事業概要に加え、回答者の南カリフォルニアでの生活に迫るコーナー。



お話をうかがったのは
大谷晴彦さん

Vice President

南カリフォルニア生まれ。矢崎総業株式会社に入社後、国際畑で欧州カーメーカー営業や貿易業務に携わる。M&Aプロジェクトの担当を経てドイツに7年駐在。その後、タイ赴任を経て日本に帰国後、矢崎エナジーシステムに勤務。2020年に渡米し、Yazaki Innovations, Incにて矢崎グループの新領域開拓中。マサチューセッツ工科大学(MIT) MBA取得。
<https://www.yazaki-na.com/>

貴社の事業内容について教えてください。

弊社Yazaki Innovations, Inc. (以下YII) は、2022年の7月に新しく立ち上がった法人です。YIIの親会社である矢崎総業は、自動車に使用されるワイヤーハーネスの一次サプライヤーですが、YIIとしては従来の事業内容とは異なる新たな領域の開拓に携わっています。

まず、新興の自動車メーカーを含む電気自動車に関係するビジネス、次に航空宇宙産業、ロボティクス、ドローンといった従来の自動車以外の分野で電化が必要な業界向けのビジネス、さらに3つ目が、私が直接担当している事業で、スタートアップ企業との提携を通じて互いの知見を組み合わせることで将来的に弊社のアセットになるようなビジネスを展開していくというものです。

自動車業界には100年に一度大きな変革が訪れると言われていますが、我々の事業もまさにその変革期の中で生まれました。現在、自動車に関してはシェアリング社会となり、電気自動車をはじめコネクテッド、

Yazaki Innovations, Inc.

全世界に従業員25万人を擁する、自動車用のワイヤーハーネスで知られる矢崎総業の傘下に、2022年に生まれた新法人、Yazaki Innovations, Inc.の大谷さんにお話を伺いました。

自動運転な

ど大きなトレンド

が巻き起こっています。

我々が生き残っていくために

は、新しいトレンドに乗ることが

必要です。そのために身軽に動ける

新しい部隊YIIを立ち上げたのです。

私はすでに矢崎に30年近く勤務し

ており古い人間ではありますが、現在はYIIでスタートアップ企業との橋渡し役を務めています。

コロナ禍は、貴社の事業にどのような影響を及ぼしましたか。

親会社の矢崎総業はコロナ禍で相当なダメージを受けました。ご存じのようにサプライチェーンの混乱で、届くべき物が届くべき時期に届かないという事態が続いています。

自動車業界では「Just in Time」と言いますが、必要な時に必要な物が届くことが重要なのですが、それができなくなってしまいました。そこで、従来は船で輸送していたところを飛行機輸送に切り替えたり、東南アジアから北米に輸送するのではなく、北米からコントロールしやすい中米に拠点を設けたりなど、できることに取り組んできました。

しかし、せっかく製品を届けても、世界的な半導体不足により、自動車製造工場の生産ラインが停止するなど、さまざまな困難があり、引き続き厳しい状況が続いています。

仕事をする上で、個人として大切にされている考え方は？

私自身の座右の銘は「チャンスは貯金できない」です。今、目の前にあることは二度とないチャンスなので、それを必ずつかみ取る、ということです。

ビジネスにおいてはもちろん、何事においてもその考えを大事にしています。たとえば、人との出会いもそうです。恥ずかし



YAZAKI INNOVATIONS, INC.

いからと声をかけないのではなく、思い切って声をかけることで、その出会いがその後の重要な変化を生み出すかもしれないということを、常に肝に命じて行動するようにしています。

南カリフォルニアでの余暇の過ごし方について教えてください。

週末は息子のテニスの大会について回ったり、今住んでいるベンチュラの大自然の中でハイキングしたり、マウンテンバイクを楽しんだりしていました。

「していました」というのは、7月に弊社を立ち上げてから週末も非常に忙しく過ごしているからで、まだ余暇を楽しむゆとりがありません(笑)。2023年は週末に南カリフォルニアを楽しめるように、事業を軌道に乗せるべく頑張ります。

実は私はもともとトランス生まれなのです。その後、アーバインに移り、15歳まで南カリフォルニアで育ちました。

南カリフォルニアのいいところはどんな点か？ もちろん気候の良さが挙げられますが、ビジネスの面で言うと、北カリフォルニアのベイエリアに負けず劣らず、航空宇宙産業をはじめ、弊社の顧客対象にもなりえような新規事業が次々に生まれているところですね。

JBAに期待することは？

1社だけでは難しいことでも、お互いに協力することで新しいものを生み出せるような「オープンイノベーション」のような試みを、日本企業同士のネットワークを通じて挑戦してみたいと思います。

あさひ学園高等部弁論大会 最優秀賞受賞弁論の発表

去る10月、11月にかけて、あさひ学園高等部がオレンジ校、トランス校、サンタモニカ校にて弁論大会を実施し、3校合わせて64名の高校生が、多くの聴衆の前で個性豊かな弁論発表をした。サンタモニカ校では同点入賞で最優秀賞が2名となるなど、白熱した大会の様相および最優秀賞受賞生徒とその弁論を紹介する。

毎年恒例となっているあさひ学園高等部の弁論大会。2022年は10月29日(土)のサンタモニカ校を皮切りに、11月12日(土)にトランス校、19日(土)にオレンジ校と、3週にわたって3校で実施された。当日の弁論は生徒たちの主張する思いと熱意がひしひしと伝わり、審査員らは厳密な審査を要求された。審査員は、あさひ学園部会部会長であり同校理事長の島田幹彦さんが審査委員長を務め、校長、専務理事、各校父母の会会長がその脇を固めた。

弁論の演題には生徒たちの工夫が表れており、中には演題から想像するものとは全く別の論点で語られたものもあるなど、興味深い弁論ばかりであった。生徒たちがこれまで培った学力と国語力を基に、自分の体験から得たものや研究データなどの情報を盛り込み、それぞれ個性豊かに、聴く者

を魅了し、感動をもたらす弁論を披露した素晴らしい大会となった。

また、オレンジ校弁論大会では、JBAから来賓として、大家筆頭副会長、増田オレンジカウンティ地域部会部会長、役員会オブザーバー/ジェットロ・ロサンゼルス事務所の瀧所長も臨席し、生徒らを激励した。

各校で入賞した生徒にはトロフィーと賞状が贈呈されたほか、大会に参加した生徒全員に、JBAから参加賞としてギフトカードを進呈。このように、JBAはあさひ学園高等部を長年サポートしてきている。

以下では、各校の受賞生徒および弁論タイトルを紹介する。最優秀賞受賞弁論に関しては、それぞれのURLをクリックいただくと当日の発表動画を観ることができるので、ぜひご視聴いただきたい。

◎サンタモニカ校

- 最優秀賞:「バイカルチャーの作り方」
(高等部2年・ハルツバグ慶さん / <https://vimeo.com/778709158>)
- 最優秀賞:「情報の時代にて」
(高等部2年・池田絵都さん / <https://vimeo.com/778687678>)
- 優良賞:「豊かな、魅力的な、幅広い日本とは」
(高等部1年・オーロクリン衣麻さん)
- 特別賞:「私のアイデンティティ」(高等部2年・田附真奈さん)
- 特別賞:「粘土の塊」(高等部2年・キノシタユウカさん)



サンタモニカ校の最優秀賞を受賞した、高等部2年のハルツバグ慶さん。



サンタモニカ校の記念集合写真。



同じくサンタモニカ校の最優秀賞を受賞した、高等部2年の池田絵都さん

◎トランス校

- 最優秀賞:「生きていてくれて、ありがとう」(高等部2年・井泉裕登さん／<https://vimeo.com/771829343/723536c60b>)
- 優秀賞:「食、健やかに生きる」(高等部2年・森 紬桜さん)
- 優良賞:「切っても切れない関係だったら、うまくやろうよ!」(高等部2年・佐野舞彩さん)
- 特別賞:「二重国籍問題について」(高等部1年・下田洸季さん)
- 特別賞:「幸せはお金で買えるか」(高等部2年・陳 薇玲さん)



トランス校の記念集合写真。



トランス校の最優秀賞を受賞した、高等部2年の井泉裕登さん。

◎オレンジ校

- 最優秀賞:「スペイン語のすすめ」(高等部2年・小笠原るなさん／<https://vimeo.com/777211583/8fb10d5bec>)
- 優秀賞:「みんな一人の人間だよ」(高等部2年・山元遼祐さん)
- 優良賞:「理想と現実」(高等部2年・久保田佳蓮さん)
- 特別賞:「盛者必衰」(高等部2年・松本時雄さん)
- 特別賞:「同化と異化」(高等部1年・柳 果怜さん)



オレンジ校の記念集合写真。JBAからは大家正宏筆頭副会長(前列左から3人目)、増田浩一オレンジカウンティ地域部会長(前列右)、JBA役員会オブザーバー/ジェットロ・ロサンゼルス事務所所長の瀧統さん(前列右から2人目)が来賓として出席。



オレンジ校の最優秀賞を受賞した、高等部2年の小笠原るなさん。

各部会からのお知らせ

教育文化部会

Japan Enrichment Grant 授与式を対面で開催

文：MUFG Bank, Ltd.・前川洋平さん

教育文化部会の活動の一つである「Japan Enrichment Grant」(以下JEG:日本の文化、伝統、言語を取り入れた授業および活動を行う学校を対象とした支援事業)の申し込みが2022年9月末に締め切られ、13校の教育プログラムに合計2万6千ドルの支援を実施することを決定し、12月8日(木)に授与式を行いました。

当該支援事業の原資は、年1回開催している「JBA Foundationチャリティーゴルフトーナメント」で各企業および個人の皆さまより寄せられた寄付から捻出しており、貴重な寄付を有益に活用すべく、選考に当たっては日本の文化や歴史、伝統、言語をどのような形で教育に取り込めるか、あるいはそれらを教育を窓口にして広められるか、さらには子どもたちを通じてその家庭やコミュニティーにまで影響をもたらされるのかといった見地から検討致しました。



JBA事務局で3年ぶりに対面式の授与式を開催。



オンラインで参加された2名の先生。

また、直近2年間の授与式は新型コロナウイルスの影響でオンライン開催でしたが、今年度は来場を希望された8名の先生方を3年ぶりにJBAオフィスに迎え、オンラインでのご参加2名を加えたハイブリッド形式で開催しました。当日はJEG担当の矢田さん司会進行のもと、冒頭の林部会長の授与校への祝辞に続き、JEG活動をまとめた紹介ビデオ(https://www.youtube.com/watch?v=s_yVMUyU25E)を上映。続いて、各授与者より各教育現場における活動の概要、課題、日本文化・日本語教育が置かれる現状などの紹介、情報共有が行われました。最後に、ここ南カルフォルニアにて日本語・日本文化教育を行っている教育者の方々の活動に、心より感謝を申し上げます。また、本取り組みを支えるチャリティーゴルフでの寄付ご支援をいただきました各企業さまおよび個人さまにも厚く御礼を申し上げます。

ダウNTOWN地域部会

懇親ゴルフ大会を開催!

文：Tokio Marine America・久次米亮さん

11月13日(日)、Los Verdes Golf Courseにて懇親ゴルフ大会を開催しました。予約困難な人気パブリックコースでの開催とあり、32名の参加枠は募集開始後数時間で完売に。大会当日は、海辺のコース特有の重い風に吹かれつつも、暖かい日差しの下、全8組がティーオフしました。ラウンド終盤はかなり気温が下がり、難しいコンディ



海を背景にしたLos Verdes Golf Courseでの記念写真。

ションとなりましたが、真っ赤な夕日がコースを照らし、参加者の皆さまには素晴らしい景観を堪能していただけたものと思います。ラウンド終了後は、コース内のレストランにて順位発表と賞品の贈呈式を実施しました。参加企業をはじめ、JBA会員企業から数多くの豪華賞品(ホテル宿泊券、ワイン、エアベッド、ゴルフボールなど)を寄付いただいたことから、参加者全員に何らかの賞品をお渡しすることができました。

個人的には幹事を務めさせていただく一方、プレーヤーとしても同伴者にも恵まれ優勝することができ、思い出に残る1日となりました。参加いただいた皆さまならびに賞品を寄付していただいた企業さま、また本大会の幹事を務められたダウNTOWN部会の皆さま、誠にありがとうございました。次回のゴルフ大会も楽しみにしています。

ワイナリーツアーに参加しての感想文

文：Somp International・河津貴子さん

大人の遠足で、ワイナリーツアーに参加しました。観光バスに乗り、会社の同僚、ご夫婦、あるいはお一人での参加など、総勢39名の皆さまと海岸線を走り、最初の目的地であるソルバングへ向かいました。幹事の方が考えてくださったワインやサンタバーバラに関する教養クイズで事前知識を蓄えたところで、Alma Rosa Wineryのテイスティングルームに到着。早速の試飲を

スターツ・パシフィック



海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。



日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

スターツは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールドトランスにごさいます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

もちろん、個人の住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住い探しもご相談下さい。

●ロサンゼルス店:

TEL (310)782-7877

21151 S. Western Ave. #227, Torrance, CA 90501

info@startsla.com

www.starts.co.jp/la

●ニューヨーク店:

TEL(212)599-7697

www.startsnewyork.com

●サンノゼ店:

TEL(408)380-2499

www.starts.co.jp/sanjose

●スターツコーポレーション株式会社:

TEL(03)6202-0111(代表)

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10

スターツ八重洲中央ビル

www.starts.co.jp

●ハワイ店:

TEL(808)947-2280

www.startshawaii.com

●ダラス店:

TEL(646)708-6194

<https://kaigai.starts.co.jp/dallas>



2軒目の試飲場所、Sunstone Wineryでの参加者の皆さん。

楽しみました。Chardonnay、Pinot Noirを数種類、チーズや生ハムなどのおつまみとともに頂いていると、ほろ酔いも手伝って会話が弾み、本当に楽しいひと時でした。

その後、2軒目の試飲場所、Sunstone Wineryへ。こちらの本格的なワイナリーで、Grenache、Syrah、Cabernet Sauvignonと品種の違うワインを飲み比べて、会話はますます弾みます。あつという間に時間は経ち、慌ただしくお土産を買い、夕日に照らされる海岸線を走り帰途に着きました。個人で行くのもいいですが、皆さんと一緒にしゃべりながら大型バスで行く遠足は、大人になってからは機会がなく、貴重で楽しい経験でした。道程をよく考えてくださり、素晴らしい段取りをさせていただいた幹事の方々に感謝申し上げます。

あさひ学園だより

保護者茶話会の対面実施と 幼稚園の楽しい行事2種

文：あさひ学園事務局

12月はあさひ学園4校において茶話会を行いました。コロナ禍を越えて、実に3年ぶり、対面で保護者と理事、校長、専務理事および学校関係者が一堂に会して楽しく実りある時間を持ちました。例年の茶話会より参加者が多く、オンライン時に入園入学された方や、長く在籍している保護

者の方々がいらっしゃり、保護者同士でのアイデアや経験談を出し合う場面もありました。このように学校関係者と保護者の皆さまが和やかにお話を進めることで、あさひ学園が、より一層、時代や在籍の子どもたちのニーズに合った環境を整えることを考える機会となりました。

幼稚部ではお楽しみ会と餅つき大会を行いました。お楽しみ会では、サンタさんから園児全員がプレゼントをもらいました。また、エプロンと三角巾をつけて、大きな臼に入った炊き立てのもち米を「よいしょ！よいしょ！」と皆、大きなかけ声をかけてのお餅つき。初めて持つ杵の重さにびっくり。子どもたちには、全てが初めての経験で楽しかったようです。みんなで作った“つきたてのお餅”の味は格別で、大人も子どもたちも笑顔溢れる1日になりました。

幼稚部の年間行事は、日本文化や伝統行事を保育の一環として盛り込んでいます。文化の知識も、行事に関する言葉もたくさん覚えます。また、このような大きな行事を行う際は、保護者の方々にも参加をお願いし、サポートしていただいています。保護者に学校の教育活動に参加していただくことは、子どもの健やかな成長の一助になることを実感します。



よいしょ！よいしょ！べったんこ。

新入会企業紹介

BRP日系部門のカリフォルニアの代表として、JBAを通じて日系企業の皆さまとの交流を深めることにより、いろいろな情報交換ができることを願ってJBAに参加させていただきました。



名越洋子さん

Baldwin Risk Partners

DATA

住所：2211 Michelson Drive, Suite 1200, Irvine, CA 92612

☎ 949-407-6948

Web：https://www.baldwinriskpartners.com/

責任者：名越洋子 (Director, Client Experience)

従業員数：約4000名

他の営業拠点：ロサンゼルス、サンフランシスコ、シカゴ、その他50州130カ所。

Baldwin Risk Partners (BRP) は、数々の受賞歴がある保険ブローカー・リスクコンサルティング会社の統括会社である。テクノロジーを駆使した総合保険ブローカーとして企業向け損害保険、健康保険、福利厚生や人事コンサルティングなど、多岐にわたるブローカーサービスを提供。母体となる会社は2006年に設立、12年にBRPとしてホールディング化、そして19年にNASDAQに上場し、毎年急成長している。21年の秋に日系企業のさらなる発展をサポートすることを目的としてGlobal Japanese Practice (GJP) を設立し、10名のメンバーが所属している。



さあ、次の目的地へ。

Hitachi Solutionsはソリューションポートフォリオを、Digital Compass™として体系化しています。

業務システムの改善から、データ分析・AI技術の適用、Office環境の構築・移行から、システムの運用管理・ユーザートレーニングまで、課題や状況に合わせ、最適なソリューションを提案。

貴社を次の目的地までナビゲートします。

お問合せ

+1-650-615-7621
info-jp@hitachisolutions.com

担当：高木・黒田まで

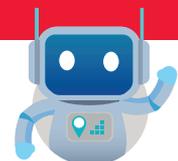
Webをチェック

https://global.hitachi-solutions.com/

Microsoft
Partner



2021 Partner of the Year Winner
Dynamics 365 Field Service Award
2021 Partner of the Year Finalist
Dynamics 365 Customer Service Award
Dynamics 365 Marketing Award
Dynamics 365 Sales Award
Government Award





本年も、変わらぬ安心と信頼を 大切なお客さまへ

あけましておめでとうございます。

皆さまと共に新しい年の門出を慶び、今年もより一層価値のあるパートナーシップを築く。
それが、私たち Union Bank® (ユニオンバンク)の願いです。一生涯のフィナンシャル・パートナーとして
日系コミュニティの皆さまと長年培ってきた安心と信頼の絆を、これからも大切に育んでいきます。

お客さまの未来へ、お客さまと共に。



©2023 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC.

Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. unionbank.com/japanese

1/2月のJBAイベントカレンダー

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

1/20 (金) 賀詞交歓会

企画マーケティング部会

1/29 (日) 目指せ100切り!エンジョイ懇親ゴルフ

オレンジカウンティ地域部会

2/19 (日) Genesis Invitationalゴルフ観戦ツアー

ダウンタウン地域部会

2/25 (土) メジャーリーグサッカー (MLS) ダービーマッチ観戦
LA Galaxy vs LA FC

ダウンタウン地域部会

新入会員

MUFG Union Bank, N.A.
Yazaki Innovations, Inc.

15800 S. Western Ave., Suite 200, Gardena, CA 90247
5850 Granite Pkwy., Suite 330, Plano, TX 75024

☎ 310-354-4734
☎ 734-983-1000





医療機器、医薬品、食品、化粧品、放射線機器

FDA・EPA・Prop65

他各種規制対応 専門



Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net

お問い合わせは平井迄

1411 W. 190th St., Suite 200 Gardena, CA 90248, U.S.A.

グロービッツ コンサルティング • ウェブサイト: www.globizz.net



ロサンゼルス・サンフランシスコ・テキサス
東京・大阪・神戸

Nippon Life Insurance Company of America®

アメリカでも、ニッセイ

米国日本生命は、医療・歯科・視力矯正・団体生命・所得補償などの団体保険をご提供しております。
日本語カスタマーサービスをはじめとする質の高いきめ細かなサービスをお届けします。

 Nippon Life Benefits® 米国日本生命

ロサンゼルス支店 213-430-0802 | www.nipponlifebenefits.com

ご提供できる商品は州によって異なります。米国日本生命（本部所在地: 666 Third Avenue, Suite 2201, New York, NY 10017/NAIC No. 81264）は、アイオワ州で会社登記し、メイン州、ニューハンプシャー州、ワイオミング州を除くすべての州（ワシントンDCを含む）で保険ライセンスを取得し営業を行う、日本生命保険相互会社のグループ会社（子会社）です。当社は、当社自身の財務状態および契約上の義務について、一切の責任を負います。